

# みちのく

# ヨロとカラダの癒し旅

秋田県山本町森岳温泉 丸富ホテル

## 昭和生まれの昭和育ち

温泉の話をする前に、石油の話をしよう。

秋田はかつて石油王国だった。昭和三十年代には秋田県は石油産出日本一を誇り、今ではほとんど名残をとどめていないものの、秋田市の八橋油田などは全国的にも有名だった。

秋田県の石油採掘は昭和二十六年ころからの十年ほどのあいだがピークであった。昭和二十七年、帝国石油は山本郡森岳村字木戸ノ沢(当時)でも石油掘削に挑んでいた。しかし、同年十一月二十日午後十一時、ボーリングした井戸から噴き出してきたのは石油ではなく熱湯だった。同社はパイプをセメントで封鎖し、石油掘削は不成

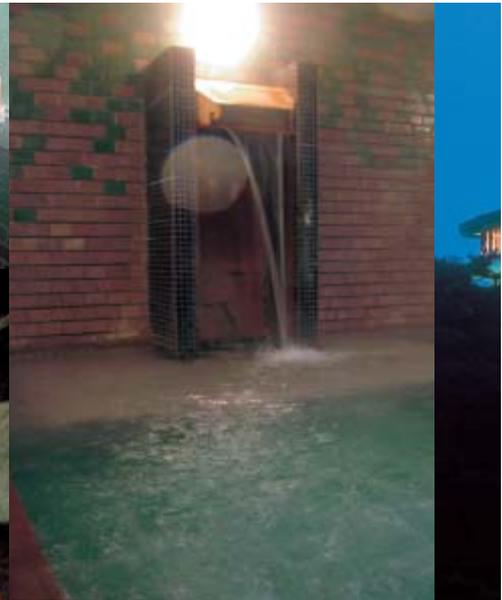
功だったと発表した。

ところが、湯がわいたことはすぐに世間の知られるところとなり、同社と地元との交渉の末、再びパイプを貫通させ、翌年一月には一日150ℓの熱湯を自噴させている。これが今日の森岳温泉の始まりだった。

丸富ホテルはいち早く同年中に開業をしている。森岳温泉も丸富ホテルも、戦後の生まれなのである。また、結果的には森岳温泉の誕生は非常にタイムリーでもあった。それというのも、昭和三十二年から世紀の大事業といわれた八郎潟の干拓工事が始まり、以後二十年間にわたって、延べ30万人もの人々がこの工事にかかわった。森岳温泉は干拓事業関係者の宿泊や保養に大きな使命を果たしてきたのだ。



- ① どことなく昭和の雰囲気が残るロビー
- ② ロビーの池ではコイや金魚が元気に泳ぎ回っている
- ③ 名水琴丘町房住山の美味しいわき水がロビーで飲める



### ふらりと訪れたくなる宿

石油の代わりにゆう出した温泉は、  
 泉温63度のナトリウム・カルシウム―塩  
 化物泉。塩分濃度の非常に高い食塩  
 泉だ。日本屈指の強食塩泉が森岳温  
 泉の最大のセールスポイントと言える。  
 丸富ホテルでも浴場の一角に飲泉場  
 があるのだが、源泉を口に含むと、苦  
 いくらいの塩辛さだ。入浴すると汗の  
 噴き出すあたたまりの湯。冷え性の  
 人や寒い季節には恋しくなる湯と言  
 えるだろう。

前記したように、八郎潟千拓事業  
 関連で大いにぎわい、また、往時は社  
 員旅行や宿泊忘年会のメッカでもあつ  
 たことから、今でも丸富ホテルは、そん  
 な元気のよかつた良き昭和時代の面影  
 を館内外のそここに漂わせている。  
 今は小人数の旅行が主流の時代だか  
 ら、一人旅を含めて個人客も歓迎し  
 ているが、このホテルに滞在していると、  
 なぜか「社員旅行感覚」で愉快な気分  
 で一夜を過ごしてみたくなくなる。  
 館内にボウリング場を持つていることも  
 特筆すべきことだろう。お望みならば、  
 浴衣がけでボウリングをしてもかまわ  
 ない。このホテルに限らず、昭和時代に  
 にぎわった温泉宿の多くは、男性用の  
 浴場に比べて女性用の浴場がごんま  
 りとしていたものだ。それは現実の需

- ④あとから増設された大浴場。一泊すれば両方の浴場に入れる
- ⑤露天風呂も2つ。新緑、紅葉、雪見風呂と四季折々の風情を楽しめる
- ⑥無色透明無臭のきれいな湯が張られた広々とした大浴場



ホテル内にある  
 ボウリング場。  
 浴衣でのプレー  
 もOK



r0



q0

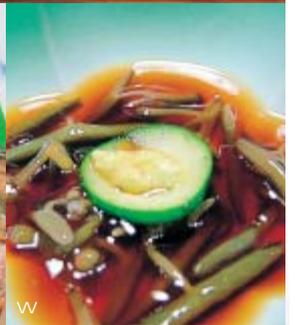


t

- ① 彩り豊かな夕食のお膳
- ② ワサビしょう油でいただくジュンサイ
- ③ プリコのつまった鮎の塩焼き
- ④ 日本旅館の情緒を味わいたければ和室をチョイス
- ⑤ カジュアルな気分でご過ごしたければ和洋室がオススメ



e



w

**大瀧村にも立ち寄りしたい**

平成十四年の秋田自動車道能代南延伸で、県内各地から森岳温泉へのアクセスは一層便利になった。秋田中央ICから最寄りの琴丘森岳ICまでおよそ30分。秋田市内からだとな家を、出てから1時間後には森岳温泉の強

要の割合がそういうものであったからそれでよかったけれども、現在はむしろ女性の利用客が伸びている時代であり、丸富ホテルでもあとから大浴場を増設して広々とした大浴場と露天風呂をそれぞれ2つ持つに至っている。しかも、夜間に男女を入れ替えるから、一泊すれば男性も女性も2種類の風呂をゆったり楽しめるというわけだ。

客室数は71室と、かなり多い。そのうちの14室を広いワンドームにツインベッドと畳の間を持つ和洋室としている。高齢のお客さんなどはベッドのある和洋室を重宝しているという。また、大浴場のある棟の和室の客室は、ホテルの中では比較的初期のころの客室で、華やかさはないものの、かえって落ち着く雰囲気があつて、部屋を指定して利用するリピーターも少なくないのだとか。規模の大きな温泉ホテルながら、しっかりとした昔ながらの温泉宿らしい和室の部屋を残しているというのも、丸富ホテルの隠れた味わいの一つだ。

ビューポイント石倉山からは八郎潟干拓地や男鹿半島が一望できる



森岳駅前のケーキショップ「ブローニュの森」の珍品スイーツ「じゅんさいゼリー」(夏季限定、その他の季節は注文販売)



温泉街のロータリーに源泉の分配小屋がある



## MARUTOMI HOTEL

### 施設のご案内

- 客室 71室
- 宿泊人員 320名様
- 大浴場・露天風呂
- レストランシアター「ゴールデンワールド」
- クラブ「リッチ」
- コーヒーコーナー
- コンベンションホール
- 結婚式場
- 大宴会場(300名様収容)
- プール
- ボウリング場

お一人様 1泊2食付き  
(4名様) 8,550円より(税込)  
(2名様) 10,650円より(税込)



食塩泉につかることも可能だ。丸富ホテルには、旅行という感覚よりも、ポツカリあいた休日に気軽にふらりと訪れてみるという利用の仕方も好ましいのではないだろうか。  
森岳温泉が、大活躍した八郎潟干拓事業とはどういうものだったのか、丸富ホテルの行き帰りに大潟村や大潟村干拓博物館に立ち寄ってみるのも一興だろう。

(文・写真：かとうりゅうへい) 秋田市

秋田県／森岳温泉

**丸富ホテル**

政府登録国際観光旅館(第1826号)日本観光旅館連盟会員

〒018-2303  
秋田県山本郡山本町森岳字木戸沢115  
TEL.0185-83-2311 Fax.0185-83-4576  
HPアドレス <http://www.marutomi-hotel.co.jp>  
Eメールアドレス [info@marutomi-hotel.co.jp](mailto:info@marutomi-hotel.co.jp)